

2024年2月21日(水)第三水曜祈祷会

マタイの福音書21章1～11節

「子ろばの背に乗って」

【マタイ20章17～34節】 * イエスさまは十二弟子だけに三度目の受難予告をされた。

- ①ゼベダイの母は二人の息子を御国でイエスさまの()座らせてほしいと頼んできた。
- ②イエスさまは弟子たちに、先に立ちたいならしもべとなって隣人に()ことを教えられた。
- ③二人の盲人が、主に憐れみを求めた。イエスさまは彼らを憐れんで、()。

【観察と黙想】 * 受難週が始まる。並行箇所:マルコ 11:1-11、ルカ 19:28-40、ヨハネ 12:12-19

1. 預言の成就として(21章1～4節) * 過越しの祭りを祝うため各地から人々が集まっていた。

- ①イエスさまは二人の弟子を遣わして、何を命じられましたか。
→
- ②イエスさまはなぜ「主がお入り用なのです」と言えば、すぐに渡してくれると言われたのでしょうか。
→
- ③マタイは、イエスさまのエルサレム入城をどのように見えていますか。
→

2. 柔和な王として(21章5～9節) * 弟子たちはイエスさまに命じられたとおりに従った。

- ①イエスさまがろばに乗って来られることは、何を表していますか。
→
- ②群衆はイエスさまのことをどのように思っていましたか。(上着や木の枝を敷くのは敬意の表れ)
→
- ③人々の「ホサナ」「ダビデの子」とはどのような意味ですか。
→

3. まことの王として(21章10～11節) * 「ホサナ」は、すぐに「十字架につけろ」に変わる。

- ①イエスさまが入城されると、都中が大騒ぎになったとはどういうことですか。
→
- ②「この人はだれなのか」という言葉は何を表していますか。
→
- ③「この人はガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」という言葉は何を表していますか。
→

【適用と分かち合い】

- ①「主がお入り用なのです」という言葉を聞いて、あなたはどのように答えますか。
- ②群衆はなぜ「ホサナ」から「十字架につけろ」という言葉に変わってしまったのですか。
- ③イエスさまはこのとき、どのようなお気持ちでエルサレムに入城されたと思いますか。